



2023年度 授業の試行的実践

支援会議を体感し自らの課題を知ろう

開催日時：2023年7月9日(土)10時40分～16時30分(2, 3, 4限)

実施方法：対面

授業担当：岡村章司(教職大学院・インクルーシブ教育発展論)

主 催：インクルーシブ教育チーム

教職大学院科目である「インクルーシブ教育発展論」の授業内容である「支援会議の実際」を本授業では取り扱いました。インクルーシブ教育を展開するにあたり必要となる、支援関係者の力を引き出すファシリテーションについて、模擬支援会議を通して学ぶことを目的として3コマで実施しました。

日時は2023年7月9日(土)で、受講者数は大学院生12名でした。1コマ目には支援会議の概要について、教師間、保護者、他職種・他領域の支援関係者との連携協働の重要性を踏まえてレクチャーしました。2コマ目では、支援会議の具体的な展開のミニ講義の後、現職である受講者のこれまでの事例を取り上げ、模擬支援会議を行いました。1グループ4名で構成し、オンライン会議で実施したグループもありました。3コマ目では、前半に各グループが話し合いの概要について発表し、質疑応答を行いました。後半では、ファシリテーター役、ライブレコーディング役など、学生はそれぞれの役割での気づきを語り、互いが肯定的な面を中心に

フィードバックをしました。

実際の支援会議では、ホワイトボードを活用し、時間管理をしながら、ファシリテーターが会議を進める様子を確認できました。ふり返りでは、テーマ設定や課題同定の難しさ、意見を引き出す工夫、記録する際の配慮点など、実際に体感したからこそその気づきが語られました。

講義後のアンケートでは、「様々な視点で意見を聞くことができた」「インプット、アウトプットを交互にでき、深い学びへと繋がっていった」など、肯定的なコメントがみられ、現職とストレート学生でグループを構成することの効果も示唆されました。

